

[優秀賞]

◇ 平等 ◇

犬伏小学校 5年 江尻 優大

「男女共同参画」と聞いて、ぼくは何のことなのかよく分かりませんでした。そこで、インターネットで検索してみると、「男女が政治的、経済的、社会的および文化的利えきをきん等にきょう受可能で、男女共に喜びも責任をとらないつつ個性と能力を發きできる社会、またはそれを目指すこと」と記さいされていました。ぼくはそれを見て、「男女が公平にいろいろなことができる社会、それを目指とすること」だと思いました。

ぼくはサッカーを習っていますが、サッカーを習っている人は男の子が多いです。女の子で習っている人は少ないですが、今年のキャプテンは6年生の女の子です。同じように学童野球でも男の子で習っている人数に比べて、女の子の人数はかなり少ないと友達から聞いています。

その話をお父さんにしたら、お父さんが子どものときにはサッカーや野球は男の子のスポーツというイメージがあり、女の子で習っていた子はいなかった。逆に吹そう楽部は女の子がするといったイメージがあり、ほとんど男の子はいなかったと言っていました。

ぼくはサッカーや野球を男の子だけがするスポーツといったイメージをもっていません。吹そう楽部も女の子だけがするというイメージはありません。女の子でも男の子よりもサッカーや野球が上手な子がいます。男の子でも吹そう楽部に所属し、がんばっている子がいます。ぼくも音楽が好きなので、サッカーを先に習っていなかったら吹そう楽部をがん

ばっていたかもしれません。きっと、お父さんの子どものときより、最近は男の子だからとか女の子だからとかいった性別からのイメージでの判断は、なくなっていると思います。

職業で昔は「看護師」さんを「看護婦」さんと呼ぶのが一般的だったとお母さんから聞きました。それは看護師さんのほとんどが女性だったからだと思います。でも、今は男性の看護師さんに病院で会う機会が多くなったと聞きます。大人になればなるほど男性は女性より力が強くなるので、患者さんの移動のときに女性の看護師さんよりもスムーズに仕事ができると思います。力だけでなく他の部分でも男性の良さや女性の良さがたくさんあると思います。

ぼくたちはこれからたくさんの方にちょう戦できます。でも、社会が昔ながらの性別によるイメージをもったままだと、ちょう戦することが難しいことがあると思います。

たくさんある男女の良さを十分に發きできるように性別による昔ながらのイメージをもつことなく、対等で平等な考え方を社会がもつことが男女共同参画には一番重要なことだと思います。